

危機管理課からお知らせ 防災情報を配信しています

国土交通省琵琶湖河川事務所 調査課 ☎(546)0844 ☎(546)6672

洪水情報を緊急速報メールで自動配信

野洲川で川が氾濫する可能性が高まったとき、周辺にいる人に氾濫の危険を知らせる「防災気象情報」が緊急速報メール(エリアメール)で自動配信されます。緊急速報メール(エリアメール)が届いたら、市からの避難情報を確認するとともに、安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

洪水情報の緊急速報メール(プッシュ型配信)のイメージ



水害・土砂災害情報統合ポータルサイトを開設

日本全国の気象警報や川の水位情報、浸水の危険が高まっている河川の情報など、これまで個別に提供していた情報を1つのサイトで見る事ができる「水害・土砂災害情報統合ポータルサイト」を6月3日に開設しました。風水害など有事の備えに活用してください。



ホームページ

消費生活センター情報 市消費生活センター(市民協働課内) ☎・☎(582)1148 ☎(583)3911

くらしのたより No.16

今回のポイント 清涼飲料水は開栓後早めに飲みきりましょう

清涼飲料水の消費量は、1人1日あたり500mlのペットボトル1本といわれています。開栓後は空気中の菌やほこり、食べ物カスの逆流などで、開栓直後に比べて2~5倍の菌が発生するといわれています。特にお茶類、ミルク入り飲料などは、翌日になると菌が急激に増殖するという試験結果が報告されています。開栓後、残した場合は冷蔵庫で保管し、できるだけ早く飲みきりましょう。いつもと違う臭いや味がする、浮遊物や濁りがある、容器が膨らんでいるように感じる場合などは、中身が劣化している可能性があるため、飲まずに処分しましょう。

容器の持ち運びにも注意が必要です。容器が昔に比べ軽量化されているため、ぶついたり落としたりすると、亀裂が入り中身が漏れてしまうことがあります。また、再び栓ができる容器は持ち運びに便利ですが、キャップの閉め方が緩いと中身が漏れてしまい、ほかの物を濡らしてしまうこともありますので、きちんとキャップを閉めるようにしましょう。

